

# 国際協力の仕事に携わる

国際開発・協力に貢献できる人材に必要な素養とは。

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社  
政策研究事業本部 国際研究室 田口涼子

## より良い社会づくりの一助を担う

民間シンクタンクは、日本国内や海外の社会経済問題など様々な分野の課題解決に向けて、調査・分析や政策提言を行っている。その成果は、日本政府や地方自治体、民間企業、さらには外国の政府や国際機関などの政策策定や業務改善などに役立てられる。例えば、日本の科学技術の向上を目指して日本政府は、自動走行技術やレジリエントな防災・減災技術など最新の重要分野に積極投資をして、基礎研究から社会実装まで一貫した支援を行っている。民間シンクタンクはそうした政府の戦略的支援が社会経済に適切なインパクトをもたらしているか、研究開発の成果や波及効果、さらにはこのような支援プログラム自体の妥当性を検証し報告書にまとめ、政府の今後の政策決定や実行をサポートする。民間のシンクタンク研究

員は、公的機関等の「頭脳」として、より良い社会づくりの一助を担うことを使命としているのである。

## 支援プロジェクトの提案をサポート

私は国際研究室の研究員として海外と直接関わる業務も多く、開発途上国の社会経済の発展に知的貢献を果たすことを目標に、世界各地を飛び回る生活を送っている。扱っているテーマは「国際開発動向・援助政策」、「官民連携・ビジネス展開支援」、「キャパシティ・ディベロップメント」など多岐にわたり、調査研究ごとに最適な専門家チームを組成して取り組んでいる。

最近では SDGs 目標の達成を企業戦略に掲げている日本企業から、自社製品や技術を途上国や新興国に展開させ社会課題の解決にも貢献したいので、共同での事業構築ができないかと相談を受

図表1：求められる素養イメージ

①経営コンサルタント的素養	②開発コンサルタント的素養
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 企業戦略、経営戦略の立案・分析・提案・実施の経験</li> <li>* 民間企業における事業計画立案の経験、知見</li> <li>* 財務・非財務の両面から、企業の付加価値を高める能力</li> <li>* 市場調査の経験、業界知見</li> <li>* 経営学、MBA、中小企業診断士、会計士等がもつ実践的知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 国際開発全般の知識</li> <li>* 専門的・技術的知見（土木、公衆衛生、資源・エネルギー、教育、農村開発、ジェンダー、環境等）</li> <li>* 開発機関や国際機関・国連機関の知見</li> <li>* 途上国での勤務経験</li> </ul>
③基本的素養（Survive 能力）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>* ロジカルシンキング、分析力、コミュニケーション力、語学力、異文化理解</li> <li>* 多様な関係者を巻き込む力、プロデュース力、国際人としての「マインドセット」（All Japan に固執しない視覚）</li> <li>* 途上国の開発課題を解決したいという情熱と強い意思、突破力、胆力</li> <li>* ビジネスと公共、フィランソロフィー・NGO/NPO 等の双方の勤務・活動経験</li> </ul>	

出所：三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社作成